



宮城県日中友好協会

〒981-0931 仙台市青葉区北山2-5-1-103

TEL・FAX 022-274-3811

Eメール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/

2月、(如月 きさらぎ)。令和最初のお正月いかがだったでしょうか。体調管理にはくれぐれもご注意ください。

1. 1月から2月の行事

日 時	行 事 名	場 所
1月 6日(月)	御用始め	
1月 7日(火)	中国武漢観光・教育視察団歓迎夕食会 18:00～ 宮城県	鍾景閣
1月 8日(水)	中国大使館・日中友好団体新年会 18:30～ 中国大使館	東京
1月10日(金)	仙台市日中友好協会理事会 16:00～	宮城県管工事会館
1月12日(火)	仙台地区中国学友会「新春お祝い会」 17:00～	仙台市福祉プラザ
1月15日(水)	「新潟春節祭」シリーズイベント 11:30～前夜祭・青海省チベット劇黄南洲歌舞劇団歓迎会並びに孔鉉佑特命全権大使特別講演会。16日:「新潟春節祭」開幕式及び初回公演。新潟春節祭実行委員会	新潟市
1月18日(土)	富谷市日中友好協会「新春の集い」 10:00～	富ヶ丘公民館
2月 1日(土)	大河原日中友好協会定「定期総会並びに日中友好新春の集い」	和洋亭ぶざん
2月 2日(日)	元宵節を祝う会 14:00～ 会費:留学生、学生200円、 協会会員400円、一般600円 青年委員会	仙台国際センター多文化共生コーナー
2月 8日(土)	仙台市日中友好協会定期総会(15:30～)並びに懇親会(17:00～)	宮城自治労会館、萬寿山
2月24日(月)	大崎市日中友好協会「新春の集い」 14:00～	ガロー

※ 各地区協会・委員会の行事報告等あれば掲載いたしますので、ぜひFax, メール等でお知らせください。

2. 日本青少年代表団 友好協会分団訪中随記 (青年委員会 吉澤千明)



昨年12月、中国政府の招待で「日本青少年代表団」500名と中国人大学生500名との1000人交流が北京で行われました。500名の代表団のうち友好



協会が担当したのは200名。今回で大学生訪中団7度目の随行でしたが、異例続きの訪中でした。まず、学生の募集です。いつもは全国から公募で100名選抜されるのですが今回は各都道府県協会に人数割り当てがあり、協会の推薦で200名が選ばれることになりました。宮城県には5名の推薦枠がありました。今回一番の問題は準備期間の短さでした。中国側から東京本部に1000人交流の話が来たのは11月8日で、そこからの学生募集でした。中国語スピーチコンテストに参加してくれた学生に連絡し、何とか5人を期限内に推薦しました。200名の訪中団は「羽田発100名」と「関西空港発100名」に分かれて渡航。随行員も8名ずつ計16名が参加しました。北京入り後は同じホテルに宿泊し6台のバスに分かれ一緒に活動しました。北海道、東北からの参加者は19日に東京前泊。20日午前から夕方まで事前研修を行い羽田発19時30分の便で北京に向かいました。ホテルに着いたのは深夜でした。21日は午前中にグループに分かれ学生交流。学生交流と言っても事前に「絵画」「中国伝統結び」「書道」「卓球」などのグループに分けられ、体験する会場まで現地の学生が案内してくれるというものでした。現地の学生との会話はほとんどなく、参加した学生は残念そうでした。午後は天安門広場や故宮博物院の見学があり、その後中国人民対外友好協会による歓迎会が行われました。22日は万里の長城に行きました。宮城から参加した一人の学生が発熱と頭痛を訴えたため、他の学生から隔離し私が付き添いました。午後は天壇公園見学とショッピングの予定でした。体調不良の学生は熱が高くインフルエンザを疑われ中国側スタッフと病院に行きました。結局インフルエンザではなく翌日の午後には回復し元気に皆と行動できるようになりました。23日は若者の起業を支援する施設を見学。午後は今回の最大の目的である「1000人交流会」が人民大会堂で行われました。人民大会堂はセキュリティがとてもしっかりしたです。パスポートと招待状がないと入ることができず、バ

ックは持ち込めません。スマホと招待状とパスポートを手に持ってセキュリティチェックを受けての入場でした。



交流会は日中両国の学生1000人が同じ会場で来賓の挨拶を聞き、それぞれパフォーマンスを披露し、一緒に「朋友」を歌い2時間ほどで終わりました。私達はその後追い出されるように急かされて会場を出ました。交流会の直後、安倍総理と習近平国家主席の夕食会が人民大会堂であったようでした。24日早朝北京を出発し帰国。短くて濃い時間を過ごした学生たちは仲間との別れを惜しみながら各地へ帰っていきました。宮城から参加した5名の学生は「訪中でたくさんの経験ができこのような機会を与えられたことに感謝しています。また中国に来たいです。」と話していました。

3. 中華人民共和国建国70周年記念2019年日中料理教室を開催して(石巻地区日中友好協会)



12月7日(土)10:00~石巻市総合水産振興センター3階調理実習室で開催。初めての会場で少し戸惑いもありましたが盛大に開催出来ました。孫大剛総領事より、所用のため欠席させていただきます、会の盛況をお祈りしておりますとの事で欠席。三洋食品の水産加工研修生も土曜日で年末、仕事でしょうか欠席でした。でも、今年は石巻専修大学の温州大学よりの交換留学生3年生の浙江省出身樓開賢さん、河南省出身のキ・キン鐸さんの2名の方が参加され、松浦が送迎を担当しました。中国人の佐藤琳副事務局長も友達の中国人の大江由弥子さんと参加、留学生の方の力になっていただきました。白井会長挨拶、料理研究家・食生活アドバイザー千葉静女史の指導の元に皆で賑やかに調理、それは、それは美味しい料理を皆で会食、斎藤敏子副会長挨拶、石巻市長代理で兵庫県派遣職員の内海伸浩地域振興課主幹が亀山宏市長の祝辞を代読、出席された方の自己紹介をしました。中国語講座の鈴木正敏さんと、仲の良い及川充・陽子ご夫妻と寶鈴子さんも初めて参加しました。そして、木村裕一理事の恒例の美味しいコーヒーの差入もあり、木伏前会長は奥様の車で来ましたので奥様にも会食に参加していただきました。中国の留学生の方は1年間だけですので良き思い出になった事と思います。受付は秋月幸子理事が担当しました。石巻かほくと石巻日日新聞の取材もあり、中華人民共和国建国70周年記念の意義を大きく留める盛大な日中料理教室となりました。中国人4名を含む総勢21名の出席で盛大で千葉静女史に大感謝でした。

に調理、それは、それは美味しい料理を皆で会食、斎藤敏子副会長挨拶、石巻市長代理で兵庫県派遣職員の内海伸浩地域振興課主幹が亀山宏市長の祝辞を代読、出席された方の自己紹介をしました。中国語講座の鈴木正敏さんと、仲の良い及川充・陽子ご夫妻と寶鈴子さんも初めて参加しました。そして、木村裕一理事の恒例の美味しいコーヒーの差入もあり、木伏前会長は奥様の車で来ましたので奥様にも会食に参加していただきました。中国の留学生の方は1年間だけですので良き思い出になった事と思います。受付は秋月幸子理事が担当しました。石巻かほくと石巻日日新聞の取材もあり、中華人民共和国建国70周年記念の意義を大きく留める盛大な日中料理教室となりました。中国人4名を含む総勢21名の出席で盛大で千葉静女史に大感謝でした。

4. スピーチコンテスト全国大会(青年委員会 吉澤 千明)

1月12日東京で開催されたスピーチコンテスト全国大会の応援に行ってきました。東北から推薦した山形県代表の松木裕花さんがスピーチ一般の部で見事2位に入賞されました。朗読高校生部の星七姫子さんは全国133名の中から選ばれた上位3名に入賞し表彰の後、朗読を発表しました。4人の写真は左から橋本先生、松木さん、星さん、育英高校の呂先生です。



5. 富谷市日中で「新春の集い」



1月18日、富ヶ丘公民館で春節を祝う富谷市日中(中山耕一会長)の「新年の集い」が行われ、約40名の参加がありました。若生裕俊市長も午前10時からの「みんなで餃子をつくりましょう」に顔を出し、激励しました。水餃子等は宮華女所属メンバーを中心に、王尉凱さんら学友会メンバー6人も参加(写真)して、12時からの懇親会に提供しました。懇親会では渡辺俊一市議会議長の祝辞の後、柿崎征英県協会副会長からあいさつがありました。また留学生の自己紹介と日本語での歌の披露、松井健さんによる篠笛の演奏、刺繍絵額やオニオンのハンバーグ1キロ、紹興酒等の豪華賞品も提供されたビンゴゲームで楽しいひとときを過ごしました。